

第195回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年6月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,553	-0.87	-0.02	4,074	0.14	0.00
東部地区	14,313	-0.80	-0.05	5,719	-0.74	-0.10
西部地区	10,503	-1.00	-0.01	3,988	-0.34	-0.05
駅南地区	6,256	-0.94	-0.15	2,704	-0.22	-0.11
半田地区	3,611	-0.19	-0.02	1,366	-0.29	-0.36
横山地区	5,647	-0.33	-0.22	1,922	1.21	-0.20
茨目・田尻地区	6,985	-0.01	-0.01	2,400	1.22	0.04
荒浜地区	5,024	-1.89	0.00	2,018	-1.36	0.09
その他地区	19,989	-2.15	-0.14	7,156	-0.29	-0.02
西山町地区	6,168	-0.64	0.00	2,154	0.98	0.18
高柳町地区	1,787	-2.98	0.00	817	-1.32	0.24
柏崎市計	89,836	-1.12	-0.07	34,318	-0.13	-0.03
刈羽村	4,851	-0.43	0.10	1,567	-0.31	-0.06
小国地区（長岡市）	6,070	-1.74	-0.18	2,117	0.04	0.04
出雲崎町	5,011	-1.61	0.05	1,810	0.49	0.16
合計	105,768	-1.15	-0.06	39,812	-0.10	-0.02

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で1,026人、1.12%、刈羽村で21人、0.43%、小国地区（長岡市）で108人、1.74%、出雲崎町で82人、1.61%とそれぞれ減少し、全体では1,237人、1.15%の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で66人、0.07%、小国地区で11人、0.18%、減少しており、刈羽村で5人、0.10%、出雲崎町で3人、0.05%増加しているが、全体では69人、0.06%減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で9世帯、0.49%、小国地区で1世帯、0.04%増加したが、柏崎市で48世帯、0.13%、刈羽村で5世帯、0.31%減少したことから、全体では43世帯、0.10%の減少となった。また、前月比においては、出雲崎町で3世帯、0.16%、小国地区で1世帯、0.04%増加したが、柏崎市で13世帯、0.03%、刈羽村で1世帯、0.06%減少した結果、全体では10世帯、0.02%減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,425		22.84		5.32	
月間有効求職者	2,113		-14.21		-3.11	
月間有効求人倍率	0.67	0.86	0.20*	0.21*	0.05*	0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,425人と前年同月比で265人、22.84%の増加となり、前月比では72人、5.32%増加している。

月間有効求職者数は、2,113人と前年同月比で350人、14.21%減少し、前月比では68人、3.11%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.67倍と前年同月比で0.20ポイント、前月比では0.05ポイント上回っている。なお、県平均0.86倍と比べると0.19ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が601人と前年同月比で142人、30.93%の増加、月間新規求職者数が500人と前年同月比で92人、15.54%減少した結果、月間新規求人倍率は1.20倍となり、前年同月の0.78倍に比べて0.42ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成24年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	42	17	19	98	0
共 同 住 宅	2	1	-4	15	10
事 務 所	1	1	1	3	0
作 業 所・工 場	0	-2	-1	2	-4
営 業 建 物	3	-1	1	5	-4
公 共 建 物	1	1	1	1	1
そ の 他	15	7	-8	55	21
合 計	64	24	9	179	24

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が64件と前年同月比で24件増加し、前月比でも9件の増加となっている。工種別内訳の主な増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比で17件の増加となり前月比でも19件増加している。共同住宅は前年同月比で1件増加したが、前月比では4件減少している。なお、工種全体の申請内容は、新築が57件となっており、また一般住宅(併用)42件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が24件(うち新築22件)、市外施工業者が18件(うち新築18件)となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,425	0.02	0.07	15,448	2.75	-16.22
電 力	10,366	-2.91	-0.35	38,004	2.19	7.04

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で19口、0.02%増加し、前月比でも、46口、0.07%増加している。一方、電力においては、前年同月比で311口、2.91%減少し、前月比でも37口、0.35%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で414kwh、2.75%増加し、前月比では、2,992kwh、16.22%減少している。一方、電力においては、前年同月比で816kwh、2.19%増加し、前月比でも、2,501kwh、7.04%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,075,750	-0.73	-16.78	705,991	-0.84	2.34
営 業 用	168,678	-4.77	-7.32	117,861	1.82	-1.26
工 場 用	716,805	3.83	17.03	130,054	2.01	7.20
官 公 学 校 用	200,390	-15.25	-11.41	84,242	-5.24	20.29
そ の 他				158	276.19	-29.77
合 計	2,161,623	-1.18	-6.56	1,038,306	-0.56	3.75

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で26,004m³、1.18%減少し、前月比でも151,866m³、6.56%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比とも工場用を除くすべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で5,889m³、0.56%の減少となり、前月比では37,530m³、3.75%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用、官公学校用で減少しており前月比では営業用、その他で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	88,449	0.36	-1.64	92,393	0.93	-1.14
西 山	40,682	5.18	-5.88	36,920	2.80	-6.66
米 山	20,405	0.50	-7.70	19,161	0.36	-6.98
合 計	149,536	1.65	-3.68	148,474	1.32	-3.35

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で2,430台、1.65%増加しているものの、前月比では5,728台、3.68%減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で1,937台、1.32%増加しているが、前月比で5,149台、3.35%減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では、入口・出口ともにすべてのインターで増加しており、前月比はすべてのインター入り口・出口で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	366,330	0.47	0.06	147,487	-1.50	1.62
平 残	366,993	0.18	-0.26	145,203	-1.95	0.35

預金は、末残が前年同月比で1,738百万円、0.47%増加し、前月比では、230百万円、0.06%増加している。また、平残においては、前年同月比で667百万円、0.18%増加したが、前月比では977百万円、0.26%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,257百万円、1.50%の減少となり、前月比では2,352百万円、1.62%増加している。平残においては、前年同月比で2,894百万円、1.95%減少し、前月比では、518百万円、0.35%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	23,324	-18.13	-28.11
交 換 金 額	14,005	-29.65	-50.55
不 渡 り 手 形 枚 数	3	200.00	-94.33
不 渡 り 手 形 金 額	1	1,215.45	-95.01

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で5,168枚、18.13%減少し、前月比でも9,122枚、28.11%減少している。また、交換金額においては前年同月比で5,904百万円、29.65%減少しており、前月比でも14,318百万円、50.55%減少となっている。なお、不渡手形は3枚、1百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産4件（前年同月6件、前月9件）、負債総額13億円（同3億円、同12億円）となっている。地区別では、下越地区で2件（阿賀野市1件、燕市1件）中越地区で2件（南蒲原郡1件、長岡市1件）発生し上越地区では発生していない。業種別は、製造業2件、卸売業1件、サービス業が1件となっており、倒産原因は、すべて販売不振となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で2件の減少となったが、負債総額は10億円の増加となっている。前月比では件数は5件減少したが、負債総額は1億円増加している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内景気は、後退傾向にあり災害復興需要が見込まれるものの、円高やデフレに加え消費税増税に対する企業の先行き不安がうかがわれ、景気回復への見通しは依然として厳しい状況にある。